

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成23年度事業)

事業の概要
事業開始年度 平成9年度～
大項目 基本目標 02 健康でやさしさあふれるまちづくり
中項目 基本施策 02 健やかで生き生きしたまちづくり
小項目 施策 07 病院事業
事務事業名 07 訪問看護事業

事業の目的
対象 (誰・何に対して) 疾病・負傷により、居宅で継続して療養を受ける状態にある者で、主治医が訪問看護を必要と認めた者。また、介護保険の要支援・要介護認定を受けた者で、介護支援専門員が必要と認めた者。
目的 (何のために) 在宅療養者の家庭における療養生活を支援する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか) 在宅療養者の心身の機能の維持回復を図る。

事業の実績
事業の説明 病状観察、看護技術・栄養・食事療養・レクリエーション実施相談指導、生活環境調整指導、連絡調整
優先度
目的を達成するため実施した事業

事業費等
事業費 直接事業費 3,418
必要人員 2.98人
事業費 20,448
国庫支出金 20,344
受益者負担 104
繰入金 19,621
その他 66
一般財源
受益者負担比率 0.5%

結果指標
結果指標量 2,676
対前年比 113.3%
活動コスト 20,448,000
単位当たりコスト 7,641

事業の成果
成果指標名 年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度目標値
1日あたりの訪問件数 目標値(A) 9.0 9.1 9.0 9.3
実績値(B) 11.1 9.7 9.1 到達目標値
達成率(B/A) 123.33% 106.59% 101.11% 10.0

意図とする成果の指標として、1日当たりの訪問件数をみる。
年間訪問件数 / 244日 (年間事業日数)

事務事業の評価
市の関与の妥当性 市の関与の妥当性 B
コスト 効率的性の評価 C
目的達成度 市民参画度 C

進行年度(H24年度)の改革改善内容
状況 拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明 地域サービスの向上を図りながら、単位当たりコストの削減に努める。

総合評価
事業の目的・対象・手段は、法律あるいは主治医の指示で定められており、評価対象としては実訪問看護時間が妥当と思われる。より効率的なサービスの提供を目指し、ステーション内で検討することにより、一層の成果をあげることが可能と思われる。また、単位当たりのコストが増加傾向にあり、経費の節減に努めなければならない。
総合評価 B

平成25年度の方向性・取組目標
方向性 拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標 地域サービスの向上を図りながら、単位当たりコストの削減に努める。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しながら

Plan

Do

Check

Action